※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　日本語

教科	日本語	科目	日本語Ａ	単位数	１単位	年次	3～4 年次
使用教科書							
副教材等	自作プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生活言語や学習言語を学び、就職や進学の際に必要な日本語能力を身につけていきましょう。

２　学習の到達目標

・学校生活（授業、行事等）を送るうえで、必要な日本語能力（生活言語）の言語知識（文字や語彙、文法）を身につけるようにする。
・身につけた言語知識（文字や語彙、文法）を実際のコミュニケーションで使うことができるようにする。
・実際の活用シーンを想定し、日本語で会話する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ひらがな、カタカナの読み書きができる。 ・あいさつ、謝罪などの言葉が理解できる。	・口頭での会話ができる（単語を用いての単純なもの。） ・助詞の使い分けを意識して活用できる。	・文章の構造を理解して短文を作ろうとする。 ・今後の学校生活等をイメージして、日本語で会話しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	基礎的な日本語能力	文字・語彙を中心に学習 （ひらがな、カタカナ、あいさつ、謝罪）	a:ひらがな、カタカナの読み書きができる。あいさつ、謝罪などの言葉が理解できる。	ワークシート 観察 発表		
		文法を中心に学習 （助詞の使い分け）	b:助詞の使い分けを意識して活用できる。		ワークシート 観察 発表	
		読解を中心に学習 （単語中心の単純なもの）	a:ひらがな、カタカナの読み書きができる。あいさつ、謝罪などの言葉が理解できる。 b:助詞の使い分けを意識して活用できる。	ワークシート 観察 発表	ワークシート 観察 発表	
後期		表現（会話・短文作り）を中心に学習 （単語中心の単純なもの）	b:口頭での会話ができる（単語を用いての単純なもの。） c:文章の構造を理解して短文を作ろうとする。		ワークシート 観察 発表	観察 発表
	総合的な日本語能力	全分野を通じた総合学習	a:ひらがな、カタカナの読み書きができる。 b:口頭での会話ができる（単語を用いての単純なもの。） c:今後の学校生活等をイメージして、日本語で会話しようとしている。	ワークシート 観察 発表	ワークシート 観察 発表	観察 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度